

今週から、運動場でも各学年競技の練習が始まりました。また、十八日（水）には、第一回目の全体練習として、入場行進及び開式の練習を行いました。入場行進は、各学年児童の応援席から直接本部テントに向かって、学級のプラカードを掲げ行います。

全校での練習を始める前に、児童会から、今回のめあて「入場行進と開会式の動きを確かめよう」が示され、児童一人一人が、目的意識を持って主体的に参加する手立てとしました。今回初めて、全児童で誓いの言葉や運動会の歌合わせ等を行いました。各学級でも、朝の時間に練習を行った甲斐あって、「やる気」や「意気込み」も感じることもできました。まだ残暑が残る中での練習でしたが、一人一人よく頑張っていました。

大会当日は、さらに成長した子供たち姿を是非、ご覧ください。



文政小
第14号

学校便り
文責
生田 文明

授業改善に向けて

本校では、自ら考え主体的に行動する児童を育成のため、ユニバーサルデザイン視点に基づいた、主体的・対話的で深い学びのある授業づくりに取り組んでいます。

その一環として、十一日（水）に一・三・六年で、研究授業を行いました。

一年生の生活科の授業では、校庭にいたバッタなどの生き物を飼うために、準備しなければならぬこと、気をつけなければならないことを、図鑑などを使って自ら調べ、さらにグループで、話し合いながら飼う方についての学習を深めていきました。

三年生では、国語の学習で、「ちいちゃんのかげおく」を教材に、二つの「かげおくり」の場面を読み取り、違いや共通点について、自分の考えを出し合いながら、グループでまとめていく学習を行いました。

六年生では、「ぼくの仕事は便所掃除」を読み、学校での当番の仕事で、感じていること比較しながら、意見や思いを出し合い、働くことの意義や充実感について学びを深めました。

互いに学び合い、学びを深めるための授業実践を今後進めてまいります。



全国学力学習状況調査（6年生対象）結果について

四月に実施しました標記調査の結果が八月末に公表されました。本校の国語・算数の平均正答率は、左表のように、すべての領域において国・県正答率を上回っています。

今回の国語・算数で、本校で正答率が低かった問題を分析した結果、図表やグラフ、文章から、解答するのに必要な要素・条件を抽出し、分析・判断する力が不足していることが分かりました。

そこで、日々の授業で、課題解決のために根拠となるもの調べたり、考えたりする一人学習の時間を十分保障すること、ペアやグループ学習で、互いに考えを出し合い、比較・検証する過程をさらに重視していきたいと思えます。

そのための授業改善に今後も取り組んでいきます。



国語	関心・意欲・態度	話す・聞く	書く	読む	言語
国	☆	◎	◎	☆	※
県	☆	◎	◎	◎	※

算数	考え方	技能	知識理解
国	◎	○	○
県	◎	○	◎

本校と国・県と正答率の差（ポイント）	
○	0.0～+5.0未満
◎	+5.0～+10.0未満
☆	+10.0～+15.0未満
※	+15.0～+20.0未満